

四天王寺夕陽丘保育園

子ども主体の保育をテーマに職員間で考える場をもち、実践を積みかさねて保育の基盤作りを行いました。

また、保護者の就労支援の充実、職員が働きやすい職場づくりに取り組みました。

新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら、日常の保育を継続しました。園外感染による休園はありましたが、感染拡大防止に努めた結果、広がることはありませんでした。

～具体的な事業活動～

(1) 乳幼児保育

- ・職員検討会を定期的に設け、主体的な保育について検討・共有する場を設けました。
- ・感染予防を重視し、実施内容に限られ豊かな行事につながるものが課題となりました。
- ・医療的ケア・障害のある児への細やかな対応を行うため、医療機関、保護者、看護師、保育士で連携を図り、支援を実施しました。

(2) 子育て支援

- ・感染予防の観点から、来園しての地域支援は実施できず、電話等での支援となりました。

(3) 人材育成

- ・係、役割を明確にし、企画立案担当者が主体的に取り組める体制づくりを行いました。
- ・研修参加は計画通りに行いましたが、園内研修につなげるところが課題として残りました。
- ・目標管理面談を実施し、育成指導に努めました。

(4) リスク対応・環境整備

- ・情報収集を行い、給食の在り方を検討しましたが、業者見直しは次年度の課題としました。
- ・保育環境整備として遊戯室の床の張替えなど、老朽箇所の改修を実施しました。
- ・遊戯室に、身近に使える楽器を配置し、音楽表現の芽生えにつながる環境づくりを行いました。
- ・コロナ対策における保育の記録をとり、安全、衛生管理を実施しました。
- ・砂場環境の整備を実施し、園庭遊びの充実を図りました。
- ・土曜日の保育時間延長を実施し、就労支援の充実を図りました。
- ・勤務体制を年間で計画し、職員の週休二日制度を導入しました。
その結果、保育体制の在り方について課題が見えてきました。

～改善活動～

- ・感染予防対策、週休二日体制の対応などが先行し、保育の手引き作成は次年度の課題としました。